



自動身長計付き体重計 WB-530A

【PCモード説明書】

【第1.2版】

2024/12/05

株式会社タニタ

目次

1. 概要	3
2. 通信仕様	3
3. 接続方法	3
4. WB-530Aモード	
PCモード概要	5
状態の説明	6
コマンド一覧	9
コマンド説明	10
測定例のフロー	19
5. 改訂履歴	14

1. 概要

この説明書は、自動身長計付き体重計「WB-530A」をパーソナルコンピューター（以下：パソコン）等の外部機器から制御するためのコマンドについて説明するものです。測定結果の出力信号に関しては、【シリアル出力説明書】を参照ください。

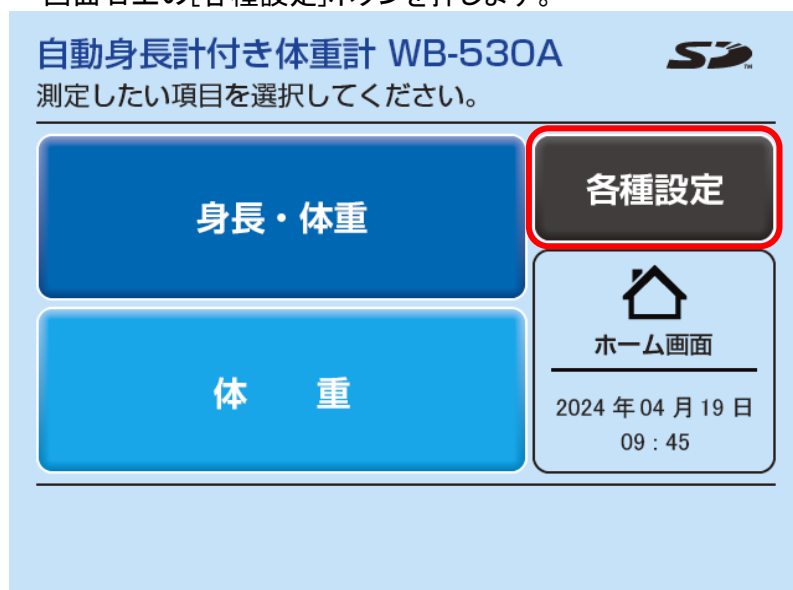
2. 通信仕様

通信規格 : EIA RS-232C準拠
通信方式 : 調歩同期式
信号速度 : 9600ボー
データビット長 : 8ビット
パリティ : なし(NONE)
ストップビット : 1ビット
フロー制御 : なし
ターミネータ : CR+LF

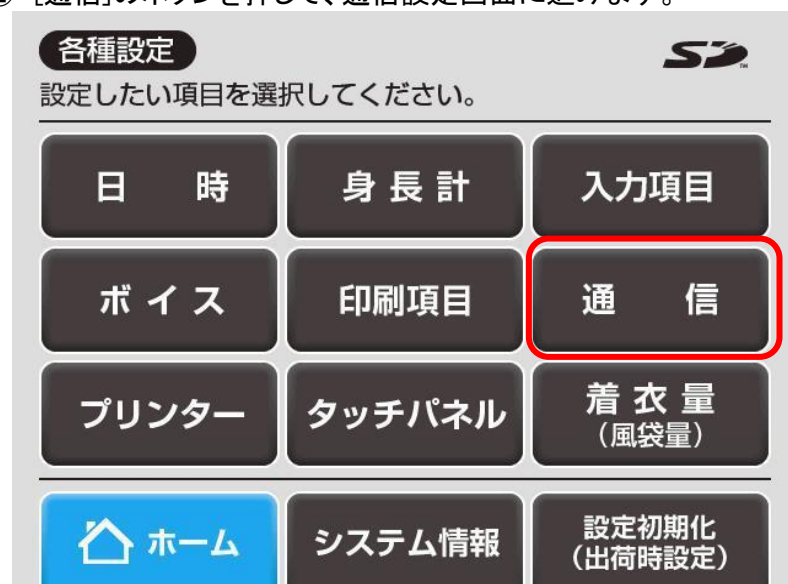
3. 接続方法

3.1 WB-530Aの設定

- ① 「WB-530A」の電源を入れると【初期画面】になります。
画面右上の[各種設定]ボタンを押します。



- ② [通信]のボタンを押して、通信設定画面に進みます。



③ 使用する通信形式と起動時のモードを選択します。

※通信形式を[BH-200A]に設定した場合は、受け付けるコマンドや応答コマンドが変わります。互換モードの説明を参照してください。

※起動時のモードを[PCモード]に設定した場合は、電源を入れた後の初期画面で4秒間操作がなかった場合に、自動的にPCモードになります。

通信設定

項目を設定してください。

通信形式

☒ DC-270 シリーズ / WB-530A

☐ BH-200A

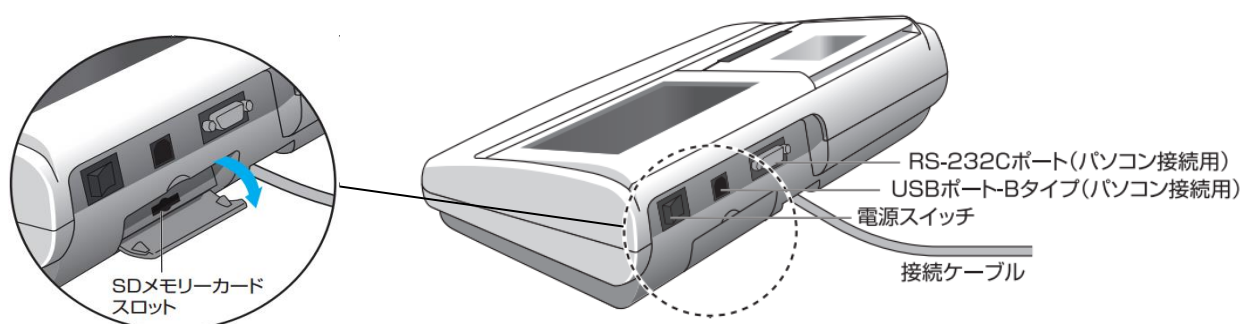
起動時のモード

☐ 通常 ☒ PC

確 定

3. 2 ケーブル接続

WB-530A本体背面のRS-232C端子かUSB端子を、ケーブルでPCと接続します。



【USBの場合】

本体背面にUSBコネクタ(Bタイプ)が付いています。USBケーブルで接続してください。

ケーブル種類: Aタイプ・4ピン(オス)ーBタイプ・4ピン(オス)

※WB-530Aは、USBシリアル変換のため、FTDI社のICチップを使用しています。

FTDI社または当社のホームページからドライバをダウンロードし、パソコンへインストールする必要があります。

【RS-232C(D-SUB9ピン)の場合】

ケーブルの種類: ストレート Dサブ9ピン(オス)ーDサブ9ピン(メス)(延長用)

※オス側のロックナットが外れるものをご使用ください。

3. 3 パソコン側での通信の設定

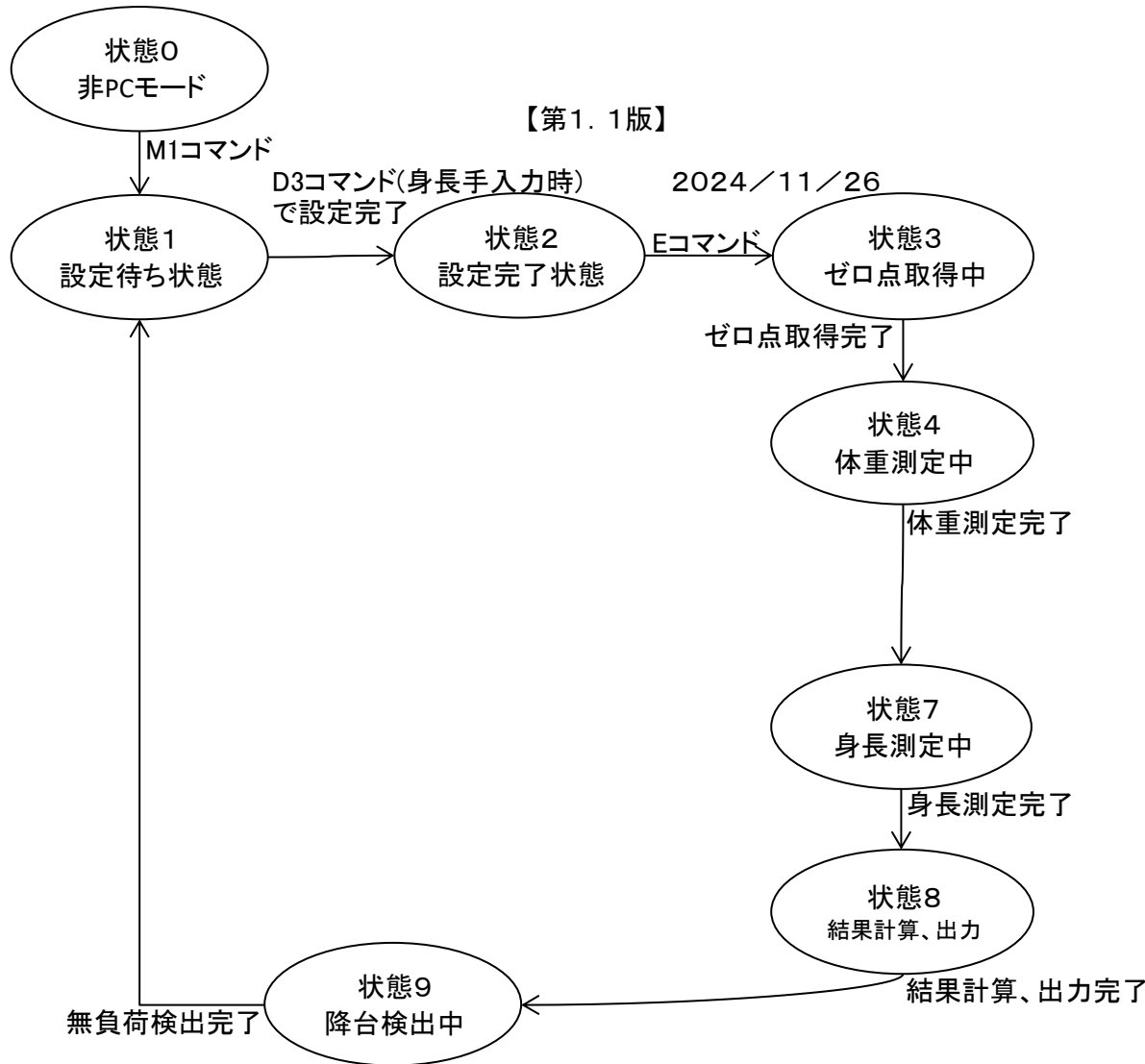
通信速度9600ボー、データビット長8ビット、パリティなし、ストップビット1ビットで設定してください。

4. WB-530Aモード

PCモード概要

- PCモードは以下の状態を取る
- 状態0 通常モード状態(通常通り電源をいれて操作している状態)
 - 状態1 PCモード／設定待ち状態
 - 状態2 PCモード／設定完了状態
 - 状態3 体重計ゼロ点取得中
 - 状態4 体重測定中
 - 状態7 身長測定中
 - 状態8 結果計算、出力中
 - 状態9 降台検出中

標準的なPCモード測定の状態遷移



状態の説明

状態0

電源を入れた直後の状態、またはPCモードを終了した状態

エラー"E0"検知時は"E0"を出力して動作停止
エラー"E2"検知時は"E2"を出力
エラー"E5"検知時は"E5"を出力して動作停止
エラー"EB"検知時は"EB"を出力

状態1

状態1に遷移するたびに身長、ID番号は
未入力状態に初期化される。
状態1に遷移しても風袋量は維持される。
身長手入力の場合は身長がコマンドで設定されると状態2へ移行する。
身長自動測定の場合は状態1をスキップして状態2へ移行する。

状態1では"F"コマンドによる体重計測定が開始可能になる。
測定時は状態3、4、8、9を連続して行い、測定終了後に状態1へ遷移する。

エラー"E4"検知時は"E4"を出力
エラー"E6"検知時は"E6"を出力
エラー"EA"検知時は"EA"を出力
エラー"EB"検知時は"EB"を出力

状態2

状態2に遷移すると"E"コマンドによる身長体重計測定が開始可能になる。
測定時は状態3～9を連続して行い、終了後に状態1へ遷移する。

エラー"E6"検知時は"E6"を出力
エラー"EA"検知時は"EA"を出力
エラー"EB"検知時は"EB"を出力

状態3

ゼロ点取得を開始する。

ゼロ点取得完了時は"S6"を出力し状態4へ遷移する。
"q"コマンド受信で測定を中止して状態1または状態2へ戻る

エラー"E0"検知時は"E0"を出力して動作停止
エラー"E3"検知時はエラーが解消されるまで"E3"を連続出力
エラー"E5"検知時は"E5"を出力して動作停止
エラー"EB"検知時は"EB"を出力

状態4

2kg以上の荷重安定待ちを行う。

2kg以上で荷重値が安定した場合は

“E”コマンドでの身長体重計測定が行われている時は状態7へ遷移
但し、“D3”コマンドで身長が設定済みの時は状態8へ遷移する

“F”コマンドでの体重計測定が行われている時は状態8へ遷移

エラー“EB”検出後にエラーが解消された際は、
この状態4だけは状態3まで戻って動作が再開される。

“q”コマンド受信で測定を中止して状態1または状態2へ戻る
エラー“E0”検知時は“E0”を出力して動作停止
エラー“E1”検知時はエラーが解消されるまで“E1”を連続出力
エラー“EB”検知時は“EB”を出力

状態7

身長測定を行う

既に“D3”コマンドで身長が設定済みの時は
この状態はスキップして測定完了時の動作を行う。

身長測定後、状態8へ遷移。

エラー“E0”検知時は“E0”を出力して動作停止
エラー“EB”検知時は“EB”を出力

身長測定エラー発生時、身長計エラー時でもPCモード中でこれを外部に通知しない。
身長測定エラー時は画面操作から以下の3択の動作を行う。

“測定中止”は何もせず状態1、又は状態2へ遷移。
“再測定”は状態3へ遷移し測定シーケンスをやり直す。
“テンキー入力”は画面操作で身長入力後状態1、又は状態2へ遷移。

状態8

結果計算、出力

正常に計算できた場合は出力結果は”WB530A_シリアル出力説明書”参照

エラー”E7”検知時は結果出力せずに”E7”を出力し状態2へ遷移
結果出力後は状態9に遷移

エラー”EB”検知時は”EB”を出力

状態9

降台待ち。秤を動作させて現在の荷重が取り除かれるのを待つ。

無負荷を検出すると”S1”を出力し状態1へ遷移する

”q”コマンド受信で測定を中止して状態1へ戻る

エラー”E0”検知時は”E0”を出力して動作停止

エラー”E1”検知時はエラーが解消されるまで”E1”を連続出力

エラー”EB”検知時は”EB”を出力

コマンド一覧

コマンド名	コマンド文字列	状態によるコマンド受付の可否									
		状態0	状態1	状態2	状態3	状態4	状態5	状態6	状態7	状態8	状態9
状態問い合わせコマンド	"S?"	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
モード切り替えコマンド	"M"	○	○	○							
通常モード移行コマンド	"M0"	○	○	○							
PCモード移行コマンド	"M1"	○	○	○							
バージョンナンバー確認コマンド	"W?"	○	○	○							
仕様確認コマンド	"s?"	○	○	○							
日時確認コマンド	"T?"		○								
時間設定コマンド	"T0"		○								
年月日設定コマンド	"T2"		○								
風袋量設定コマンド	"D0"		○	○							
身長設定コマンド	"D3"		○	○							
ID設定コマンド	"D5"		○	○							
設定確認コマンド	"D?"		○	○							
体重計測定コマンド	"F"		○	○							
身長体重計測定コマンド	"E"		○	○							
プリンタ設定確認コマンド	"P?"		○	○							
プリンタOFF設定コマンド	"P0"		○	○							
プリンタON設定コマンド	"P1"		○	○							
音声設定確認コマンド	"V?"		○	○							
音声OFF設定コマンド	"V0"		○	○							
音声ON設定コマンド	"V1"		○	○							
自動身長計設定確認コマンド	"H?"		○	○							
自動身長計OFF設定コマンド	"H0"		○	○							
自動身長計ON設定コマンド	"H1"		○	○							
単位設定確認コマンド	"U?"		○	○							
単位(kg,cm)設定コマンド	"U0"		○								
印刷言語設定確認コマンド	"L?"		○	○							
印刷言語(日本語)設定コマンド	"L0"		○	○							
リセットコマンド	"Q"		○	○	○	○	○	○			○
リセットコマンド	"¥x1e"		○	○	○	○	○	○			○
スタンバイコマンド	"q"				○	○	○	○			○
スタンバイコマンド	"¥x1f"				○	○	○	○			○

コマンド説明

1. 書式

コマンドは文字列＋CR(LF)の形を一電文として解釈される。
デリミタ(ターミネータ)はCR(0x0D)であるがCRLF(0x0D,0x0A)も問題なく解釈される
以降のコマンド説明ではデリミタは省いて表記する

2. 不正コマンド

以降に説明されるコマンド以外の電文は全て不正コマンドと見なして処理される。
不正コマンド受信時には“#”が応答として返信される。
また、コマンドのパラメータが不正で正しく解釈できなかった場合も
同様に処理される。

3. エラーステータス

通常のコマンドの応答として、又は応答とは無関係にエラーが発生したことを
伝える電文が送信される場合がある。以下は電文一覧とその意味である。

E0	内部通信異常
E1	体重計のオーバーロード
E3	体重計ゼロ点の異常
E4	設定項目が未入力のまま、測定開始コマンドが送られた
E5	体重計ゼロ点の未調整
E6	設定データのパラメータが異常
EA	設定コマンドに指定されたパラメータのフォーマットが異常である
EB	エラー復帰待ち状態

※エラー復帰待ち状態

プリンタペーパーエンド
プリンタカバーオープン
SDカードがライトプロテクトされている
SDカード容量不足
が発生してLCD上にエラー表示が行われている状態

※エラー復帰待ち状態ではすべてのコマンドが受け付けられなくなる。
その際コマンドの応答電文は“EB”となる。

4. コマンド詳細

状態問い合わせコマンド

書式

S?

説明

現在のPCモードの状態を問い合わせる。
現在の状態に応じて以下の電文が返信される。

S0	状態0(非PCモード)
S1	状態1(設定待ち状態)
S2	状態2(設定完了状態)
S5	状態3(ゼロ点取得中)
S6	状態4(体重測定中)
S6	状態7(身長測定中)
S6	状態8(結果計算、出力中)
S7	状態9(降台検出中)
EB	エラー復帰待ち状態

モード切り替えコマンド

書式 M

説明 PCモード/通常モード間でモードを切り替える。
外部出力処理はモード切替間でそのまま維持される。

書式例 M

応答電文 @

PCモードでの測定中はこのコマンドは受け付けられない。

書式例 M

応答電文 #

エラー復帰待ち状態でこのコマンドを受信した場合は
エラー中である事を通知してモード移行を行わない

書式例 M

応答電文 EB

通常モード移行コマンド

書式 M0

説明 PCモードを解除して通常動作に戻る。
外部出力処理はモード切替間でそのまま維持される。

書式例 M0

応答電文 @

PCモードでの測定中はこのコマンドは受け付けられない。

書式例 M0

応答電文 #

エラー復帰待ち状態でこのコマンドを受信した場合は
エラー中である事を通知してモード移行を行わない

書式例 M0

応答電文 EB

PCモード移行コマンド

書式 M1

説明 PCモードを開始し、状態1、設定待ちへ遷移する
外部出力処理はモード切替間でそのまま維持される。

書式例 M1

応答電文 @

エラー復帰待ち状態でこのコマンドを受信した場合は
エラー中である事を通知してモード移行を行わない

書式例 M1

応答電文 EB

バージョンナンバー問い合わせコマンド

書式 W?

説明 プログラムのバージョンを問い合わせる。

書式例 W?

応答電文 WEB530010000

“010000”の部分は今後変更も有り

仕様確認コマンド

書式 s?

説明 仕様の問い合わせ。

書式例 s?

応答電文 s?,MO,“WB-530”,02,01,01,01

日時確認コマンド

書式	T?
説明	現在のRTCの値を出力する
書式例	T?
応答電文	T0,DA,"15/11/29",TI,"12:08"

※状態1でのみ受け付けられる

時間設定コマンド

書式	T0
説明	RTCの時刻を設定する
書式例	T0"13:15:57"
応答電文	@

※状態1でのみ受け付けられる

年月日設定コマンド

書式	T2
説明	RTCの年月日を設定する
書式例	T2"15/02/07"
応答電文	@

※状態1でのみ受け付けられる
※2015年より前の年月日は受け付けない

風袋量設定コマンド

書式	D0xx.x
説明	風袋量を設定する。xx.xは固定長4バイトの文字列で整数部2バイト 小数点、少数部1バイトからなる。整数部が2桁に満たないときは その部分を0で埋める。 入力範囲は0.0～10.0kg。
書式例	D001.0
応答電文	D0,Pt,1.0

風袋量を1kgに設定
設定完了

値が範囲外の時はE6を通知
書式例 D020.0
応答電文 E6

書式が不正な時はEAを通知
書式例 D01.0
応答電文 EA

※風袋量設定はオプションの設定項目であり必須ではない

身長設定コマンド

書式 D3xxx.x
説明 身長を設定する。xxx.xは固定長5バイトの文字列で整数部3バイト
小数点、少数部1バイトからなる。整数部が3桁に満たないときは
その部分を0で埋める。入力範囲は90.00～249.9cm
書式例 D3178.0 身長を178.0cmに設定
応答電文 D3,Hm,178.0 設定完了

値が範囲外の時はE6を通知
書式例 D3250.0
応答電文 E6

書式が不正な時はEAを通知
書式例 D3178
応答電文 EA

※自動身長計設定がONの時、
身長設定は受け付けられない。
※自動身長計設定がOFFの時
身長未設定ではEコマンドによる身長体重計測定を開始出来ない。

ID設定コマンド

書式 D5"xxxxxxxxxxxxxxxx" またはD5
説明 IDを設定する。xxxxxxxxxxxxxxxxは固定長16バイト。
入力しない上位桁は0で埋める
入力範囲は0000000000000000～9999999999999999
書式例 D5"1234567890123456" IDを1234567890123456に設定
応答電文 D5,ID,"1234567890123456" 設定完了

D5 のみの場合はIDをクリア(無効)状態にする
書式例 D5 IDを無効にする
応答電文 D5,ID," " IDを無効にした

書式が不正な時はEAを通知
書式例 D5"012345678901234"
応答電文 EA

※ID設定はオプションの設定項目であり必須ではない

設定確認コマンド

書式 D?
説明 測定開始前に設定する個人データの確認をする。
返信電文は以下の項目がコンマで区切られて送信される。

風袋量	D0,Pt,xx.x (xx.xの整数部は1～2バイト可変長)
身長	D3,Hm,xxx.x (xxx.xの整数部は1～3バイト可変長)
ID	D5,ID,"xxxxxxxxxxxxxxxx" (xxxxxxxxxxxxxxxxは固定長16バイト)

書式例 D?
応答電文 D0,Pt,0.0,D3,Hm,0.0,D5,ID," " 男性、スタンダード、46才

体重計測定開始コマンド

書式 F
説明 体重計測定を開始し、状態3へ遷移する。
書式例 F
応答電文 無し

身長体重計測定開始コマンド

書式 E
説明 身長体重計測定を開始し、状態3へ遷移する。
書式例 E
応答電文 無し

自動身長計OFF設定時はD3コマンドでの身長設定がない場合は
このコマンドは受け付けられない。

書式例 E
応答電文 E4

プリンタ設定確認コマンド

書式 P?
説明 プリンタ設定を確認する
書式例 P?
応答電文 P0 プリンタOFF設定
P1 プリンタON設定

プリンタ設定コマンド

書式 P0 プリンタOFF設定
P1 プリンタON設定
説明 プリンタの使用有無を設定する
書式例 P0 (プリンタOFF設定時)
P1 (プリンタON設定時)
応答電文 @

音声設定確認コマンド

書式 V?
説明 音声設定を確認する
書式例 V?
応答電文 V0 音声OFF設定
V1 音声ON設定

音声設定コマンド

書式 V0 音声OFF設定
V1 音声ON設定
説明 音声出力を設定する
書式例 V0 (音声OFF設定時)
V1 (音声ON設定時)
応答電文 @

自動身長計設定確認コマンド

書式 H?
説明 自動身長計設定を確認する
書式例 H?
応答電文 H0 音声OFF設定
H1 音声ON設定

自動身長計設定コマンド

書式 H0 自動身長計OFF設定
H1 自動身長計ON設定
説明 自動身長計の使用有無を設定する
書式例 H0 (自動身長計OFF設定時)
H1 (自動身長計ON設定時)
応答電文 @

※自動身長計OFF設定時はD3コマンドで身長が設定されないと
 状態2としてG、G0コマンドによる体重計測定が開始出来ない。
 ※自動身長計OFF設定時はD3コマンドで身長が設定されないと
 Eコマンドによる身長体重計測定が開始出来ない。

単位設定確認コマンド

書式 U?
 説明 単位設定を確認する
 書式例 U?
 応答電文 U0 kg,cm単位設定

単位設定コマンド

書式 U0 kg,cm単位設定
 説明 単位を設定する
 書式例 U0 (kg,cm単位設定時)
 応答電文 @

印刷言語設定確認コマンド

書式 L?
 説明 印刷言語設定を確認する
 書式例 L?
 応答電文 L0 日本語印刷設定

印刷言語設定コマンド

書式 L0 日本語印刷設定
 説明 印刷言語を設定する
 書式例 L0 (日本語印刷設定時)
 応答電文 @

リセットコマンド

書式 Q
 説明 体重計を電源を入れた直後の状態に戻す。
 プリンタ、SDカード等の外部出力中にこのコマンドが送信された場合は、
 正常な動作は保障されない。
 書式例 Q
 応答電文 @ リセットの直前に受信確認を送る。

リセットコマンド

書式 CHR\$(30)
 説明 Qコマンドと同様

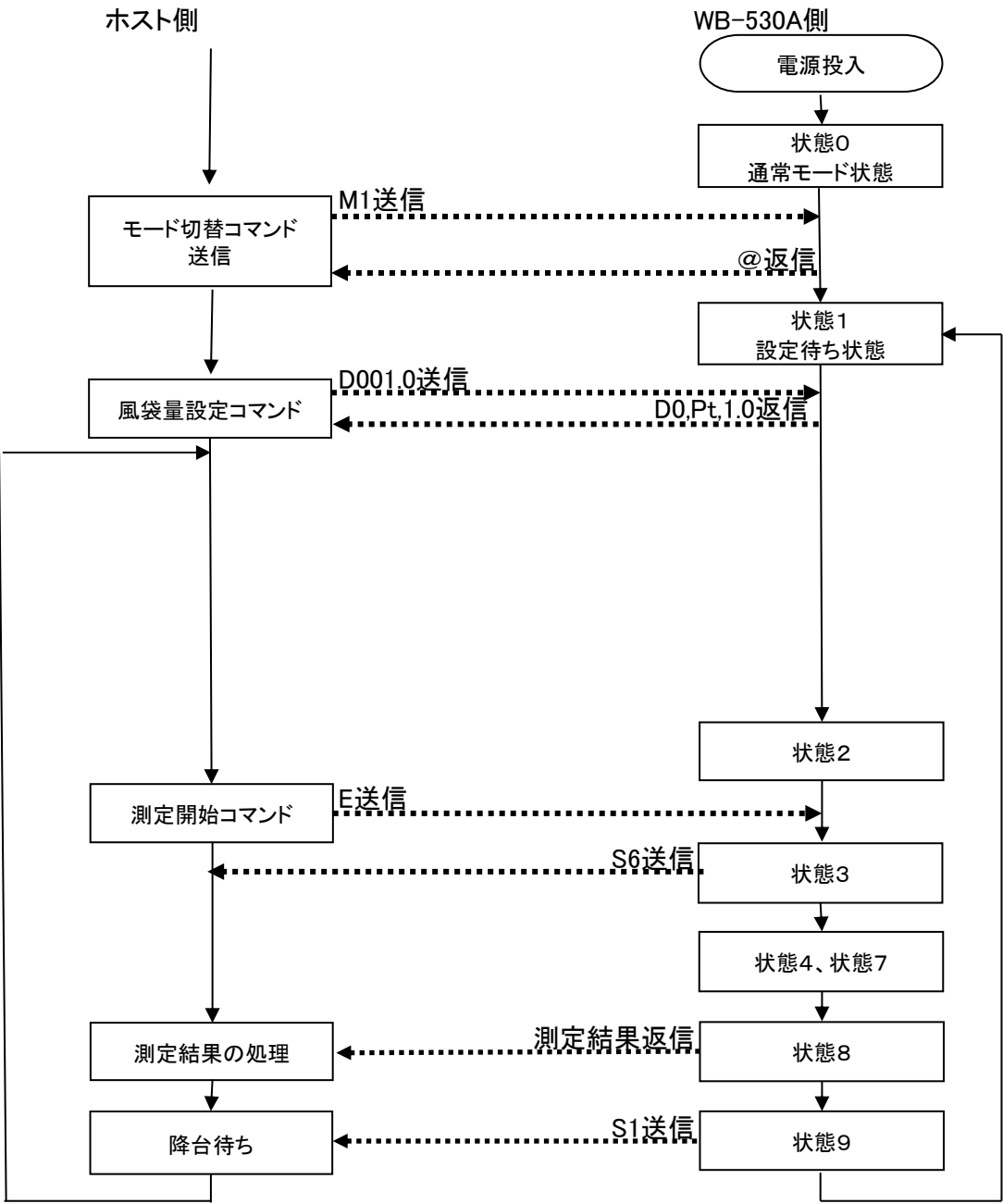
スタンバイコマンド

書式 q
 説明 測定を中止して測定開始前の状態(状態1または状態2)へ遷移する。
 書式例 q 測定を中止する
 応答電文 @ 測定中止の直前に受信確認を送る。

スタンバイコマンド

書式 CHR\$(31)
 説明 qコマンドと同様

測定例のフロー



7. 改訂履歴

第1.0版	初版
第1.1版	誤記修正
第1.2版	誤記修正